

伯耆町総合教育会議 会議録(この会議録は発言を要約したものである。)

召集年月日	令和5年10月30日(月)		
召集場所	伯耆町役場 本庁舎 応接室		
開会時間	午後3時30分		
出席者	町長：森安 保 副町長：阿部 泰 教育長：箕浦昭彦 教育委員：大木寿之、羽田成夫、松岡和代、濱田真代		
事務局等出席職員	総務課：岡本課長、本庄室長 教育委員会事務局：若林次長、岡参事、 乗本参事	会議録作成 職員	総務課室長 本庄直哉
提出議案等	1 開会 2 議題 (1) 各種学力調査結果の状況及び保小中一貫教育の推進について (2) 地域学校協働活動の推進について 3 その他 4 閉会		
閉会時間	午後4時10分		

会議の顛末

岡本課長	【開会】 伯耆町総合教育会議を開会します。 議題(1)について、教育委員会から説明をお願いします。
岡参事	【議題(1)説明】 「各種学力調査結果の状況及び保小中一貫教育の推進」について、資料に基づき説明。
岡参事	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中一貫カリキュラムは、教科書が改訂となり整備が進んでいるところです。 ・総合学習では「伯耆 I (7I) 学習」というのを人間力向上を目的にやっています。地域学習、人との繋がりなど、「なりたい自分」を見つけ出しやすいような活動を展開しています。 ・今年度から力を入れていきたいところについて、4月と12月に標準学力調査を実施します。これは4月に学力調査を行い、分析したものを各学校で共有し、その後の授業改善に活かし、12月の標準学力調査での成果を目指

	<p>していく。その後、3学期の授業改善で翌年度4月の学力調査での成果を目指していく。という大きなサイクルを展開しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の中学3年生が、小学2年生のときから学力がどのように上がり下がりしてきたかということグラフ化しています。 ・ポイントが二つあり、一つは、小学6年生から中学校にかけてぐんと上がる様子が見受けられます。 ・そしてもう一つ、小学4年5年あたりでちょっと低迷する傾向がありますが、中学校で持ち直すという事が見えてきています。 ・また、4月に小6、中3の全国学力学習状況調査があります。小6、中3において国語・算数・数学では、県平均、全国平均のいずれも上回っています。 ・中3の英語が県平均、全国平均のいずれも下回っていますが、「英語話すこと調査」というのが今年度初めて導入されており、これは全国平均を上回っています。 ・助成による英語検定の受験を推進しており、小学生でも毎年20名近くがチャレンジをし、中学校で再びチャレンジするようなサイクルが生まれています。
岡参事	<ul style="list-style-type: none"> ・近年の高校入試等、学力調査のトレンドとして思考力・判断力・表現力が求められるのですが、問題が長文になってきており、基本的な理解力がベースにあることが前提になりつつあります。 ・保育士と小学校の先生でタッグを組みながら、読み聞かせ、それから幼児教育、図書館教育に繋がっていきたいと考えています。 ・保小中を合わせると130名ぐらいの教職員がいますが、5月には総勢が集まって研修会を実施し、同じ方向がむけるよう、教職員研修を計画しています。 <p>上半期に研修、下半期に研修成果を実践していただくような流れを、理論と実践の往還ということで取り組ませていただきたいと思います。</p>
羽田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保小中一貫教育としては、やはり基本的な生活習慣をきちんとしていかなければならないと思います。 ・学習規律も学ぶ上での本当に基盤になります。学級が落ち着いた中でしっかりと学び合いができる形で小学校から中学校へと繋がっています。 ・1時間または一つの単元の塊の学習の流れが、「教え」で「考える」という流れが小中と続いているのもいいと思います。 ・それから、小学6年生と中学校の繋がりについても、委員会活動の体験や、部活動の体験など、6年生が中学校にあがる上での不安を取り除く、そういう活動もきちんとされていてよいと思います。

松岡委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の先生方が、長期休みになると積極的に補講等を実施されている。手厚く学習指導していただいているので、安心しています。
乗本参事	<p>【議題（２）説明】</p> <p>「地域学校協働活動の推進」について、資料に基づき説明。</p>
乗本参事	<ul style="list-style-type: none"> ・伯耆町では、各学校の学校運営協議会と地域学校協働活動が連携した取り組みを進めています。 ・急激な社会変化に伴う学校の課題、少子化などの地域の課題を考えていくに当たって、学校だけでは対応が難しくなっている。 ・学校運営協議会の目的である地域とともにある学校作りと、地域学校協働本部の目的である学校を核とした地域作りの一体的取り組みを進めるための新たな仕組み作りが必要だと考えています。 ・今年度は特に各学校の学校運営協議会においても、地域での活動を意識した協議が行われています。 ・これまでは地域が学校、保育所を支援する活動の「てごネット」はかなり充実してきていましたが、学校、保育所から地域への活動よりも圧倒的に多いという現状があります。 ・今年度は、この学校・保育所から地域への地域貢献活動を「夢ネット（子供の夢、地域の夢、未来に繋がる活動）」と名付けていますけども、「夢ネット」が充実していくよう取り組みを進めます。 ・この取り組みによって子供たちが地域の大人と繋がりをつくること、職業人との交流によって働くことの意義や地域との繋がりについて考えることや、地域に貢献したり、地域を元気付ける実感を持つことで、子供の自己有用感を高めたり、将来的には地域活性化に繋がる取り組みになればと考えて推進しているところです。
大木委員	<ul style="list-style-type: none"> ・17、8年前、学校支援ボランティアを町で募集された際、なかなか進まず、私も当時の校長と一緒に、地区の人にお手伝いいただきたいという説明をして各集落を回りました。 ・それから、子どもの送り迎えや読み聞かせなど、いろんなボランティアをしていただき、今に至っているのかなというふうに思っています。 ・今、一番危惧しているのは、PTA 組織自体がですね、今後どうなっていくかということです。 ・伯耆町内も借家、アパートなどが増えてきています。 今まで自治会ごとに運営している部分もあり、保護者の方に「こういう役職を出してください」というのが成り立ってたところがあるんですけど、アパートができるとそこが空白地帯になって、保護者の方がPTAに参加さ

	<p>れない可能性も出てくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的にもPTAという組織自体を無くしてしまう学校もちらほらと出てきていますし、今後どうなっていくのかなっていうのを少し心配しています。 ・学校支援については本当に頑張ってください、支援をしていただいている先進的な地域だと思いますので、これを少しでも継続できるようにしていただきたい。
濱田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・私は長いこと溝口中学校で学校支援コーディネーターをさせていただいていまして、地域の方が学校で子供たちと一緒に活動することが充実してきたところですよ。 ・地域の方との繋がりを持つことで自分たちが地域と繋がっているという実感を子供たちは持っていると思います。 ・これからは逆に子供たちが地域に向かっていくっていう活動を進めていくことで、実際に地域の中にいる大人の人たちが一つのイベントをするためにどういう準備をして、どういう関わりをしているのか、というのを少しでも体験をさせてもらうことによって、自分のロールモデルを見つけたり、大人になったらこういうことをしていくんだというような実感を持つんじゃないかなと思っています。 ・今回、いろんな施設とか、事業所とか団体とかを回らせていただいて、皆さんが「中学生に参加してもらいたい」、「地域に関わってほしい」ということをすごく強く思っておられるのを感じました。 ・地域に来ている子供たちがこれからの地域を支えていけるようになる活動をこの「てごネット」「ゆめネット」を通じて広げていけたらなというふうに思っています。
森安町長	<ul style="list-style-type: none"> ・教育会議の目的は、町長部局と教育委員会が協力して、教育行政の推進を図ることにある。今後も、協力していければと考えている。 ・このところ、人手不足もあり、60代の方の多くがまだ働いておられる。協力を要請しても難しくなっていく情勢にある。その点は冷静に考えていき、工夫していく必要がある。
岡本課長	<p>(そのほかに意見等が無いことを確認した。)</p> <p>以上で閉会します。</p>